

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

重点目標 3-4	国際児童文学館機能の充実に向け、資料の有効活用を図り、外部機関との連携を進めます。				
評価 (25年度)		【評価の理由】 外部資金等を活用し、様々な事業を推進した。特に移転資料の再整理を大幅に進めることができたのは大きな成果であった。そのほか英語版ホームページの作成や街頭紙芝居のデジタル化を行ったが、26年度にその成果をホームページ上で公開することにより、アクセス数のさらなる増加が見込まれる。 外部機関との連携については、資料展示にあたり関係機関の後援を受け、関連イベントでも他機関との共催や協賛が実現したほか、児童英語コース専攻の学生による英語のおはなし会を実施し、大学との新たな連携を試みた。			
重点指標		24 年度末 実績	目標	25 年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
連携事業をホームページで紹介		—	毎年 1 回更新	2 回	
国際児童文学館ホームページアクセス数		55,685	毎年 56,000	81,433	
移転資料の再整理		—	最終年度までに 3 万点の移管完了	78,971 冊を 再整理	
【アクション・プラン】					
	取組み		達成状況		
平成 25 年 度	(1)研究者、専門機関等との外部ネットワークの構築 (2)大学、研究機関等との連携事業の促進 (3)資料を利活用する事業の推進 (4)ホームページの充実 (5)移転資料の再整理		(1)・(2) ・外部ネットワーク構築、および大学・研究機関等との連携事業促進のため、大学教員・研究者等への訪問聞き取りを実施 ・利用ニーズ把握のためのアンケート調査を大学教員・研究者等に対して実施 (3)資料展示とギャラリートーク等関連イベントのほか、新刊紹介講座・児童文学館企画講演会を実施 (4)街頭紙芝居をデジタル化し、ホームページで公開。 また、英語版ホームページを作成 (5)雑誌資料ほか 78,971 冊を再整理 ※(2)、(4)、(5)は外部資金(緊急雇用創出基金)の活用による		
平成 26 年 度	(1)平成 25 年度の調査結果をもとに研究者、専門機関等との外部ネットワークの構築 (2)大学、研究機関等との連携事業の促進 (3)資料を利活用する事業の推進 (4)ホームページの充実 (5)移転資料の再整理				
平成 27 年 度					

【アクション・プランのねらい】（25 年度当初に記入）

図書館協議会の下部組織である国際児童文学館のあり方検討部会において指摘されたことを、実現に導く。

- ・研究者, 専門機関等との外部ネットワークを構築し、国際児童文学館の専門性確保につなげる。
- ・大学や研究機関等との連携事業を促進する。
- ・資料を利活用する事業（展示貸出や特別撮影を含む）を促進する。
- ・これらの事業や取組みの成果をホームページで公開し、周知する。
- ・ホームページを充実させて、海外からのアクセスもあるようなコンテンツを作成する。平成 27 年度までに英語で発信するページの作成をめざす。
- ・再整理については、移転資料をより利用しやすくするため、照合点検とバーコードラベル・背ラベル貼付を予定。徐々に作業を進め、平成 27 年度末までに 3 万点の照合点検と移管の完了をめざす。